

美濃市の現状データ

目次

人口の状況	2
(1) 総人口の推移	2
(2) 地区別人口の推移	4
1 子どもの教育・未来	5
(1) 出生数の推移	5
(2) 保育園・幼稚園の状況	6
(3) 教育機関の状況	7
2 市民の福祉	8
(1) 要支援・要介護認定者数の推移	8
(2) 障害者手帳所持者数の推移	9
(3) 生活保護世帯数の推移	10
(4) 高齢者世帯数の推移	10
3 健康	11
(1) 主要死因の状況	11
4 農業・林業	12
(1) 農業・林業の従事者数の推移	12
(2) 農業産出額の推移	12
5 観光の活性化・文化	13
(1) 観光客数の推移	13
(2) 美濃市の文化財一覧	14
6 産業振興	15
(1) 就業者数の推移	15
(2) 製造品出荷額の推移	16
(3) 商品販売額の推移	16
7 快適な暮らし	17
(1) 土地利用の状況	17
(2) 空家の状況	17
(3) 公共交通機関の利用者数の推移	18
8 安心・安全なまちづくり	19
(1) 火災発生件数の推移	19
(2) 消防団員数の推移	19
(3) 救急車出動状況	20

令和元年 10 月現在

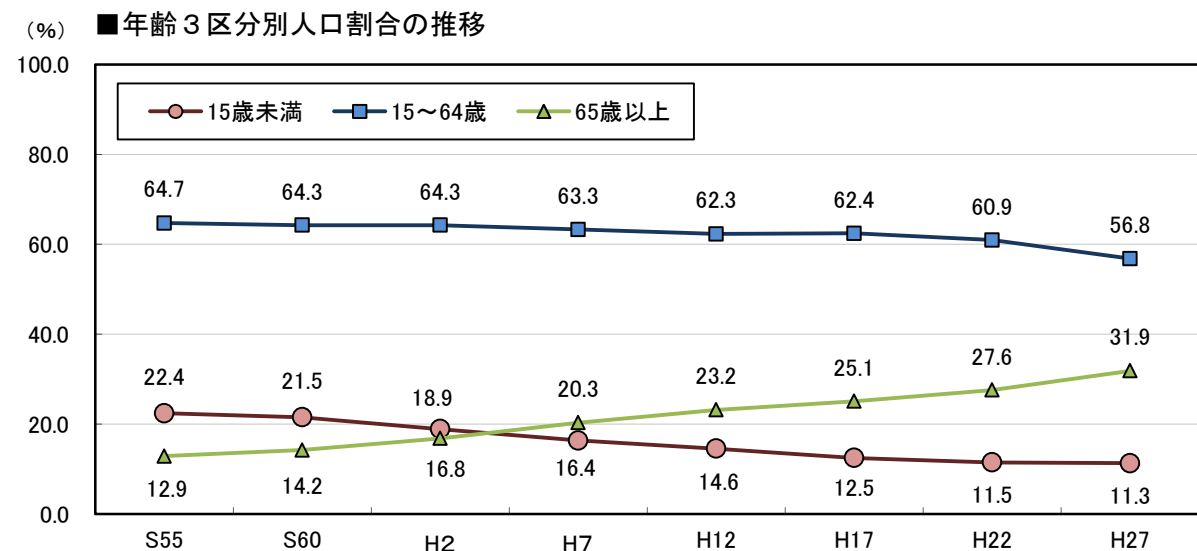
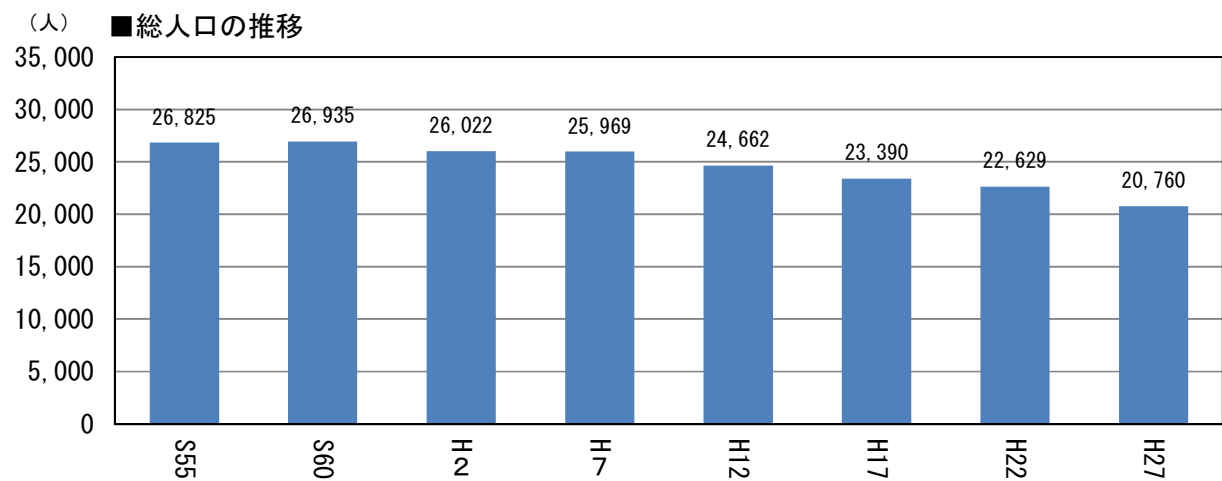
美濃市 総合政策課

人口の状況

(1) 総人口の推移

○国勢調査によると、美濃市の総人口は年々減少しており、平成27年調査では20,760人となっています。10年前の平成17年から2,630人（-11.2%）減少しています。

○年齢3区分別人口の推移をみると、15歳未満の年少人口、15～64歳の生産年齢人口の割合が減少しており、65歳以上の高齢者人口の割合が高まっています。平成27年の高齢化率は31.9%と、全国（26.7%）、岐阜県（28.1%）を上回っています。

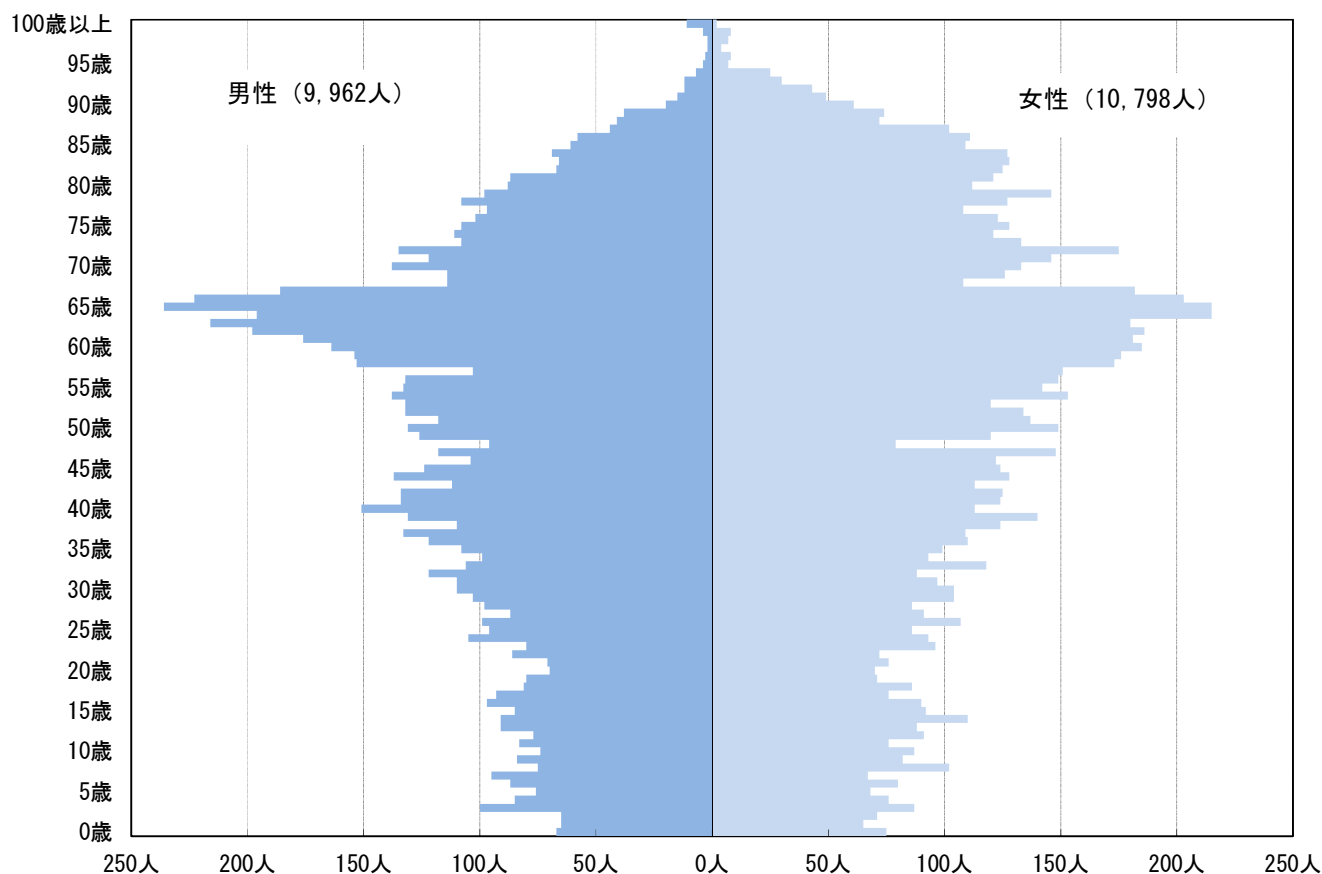


資料：国勢調査

○平成 27 年国勢調査における人口ピラミッドをみると、60 歳代のいわゆる団塊世代のふくらみが目立っています。しかし、その子ども世代にあたる団塊ジュニア世代の人口ではふくらみがみられません。

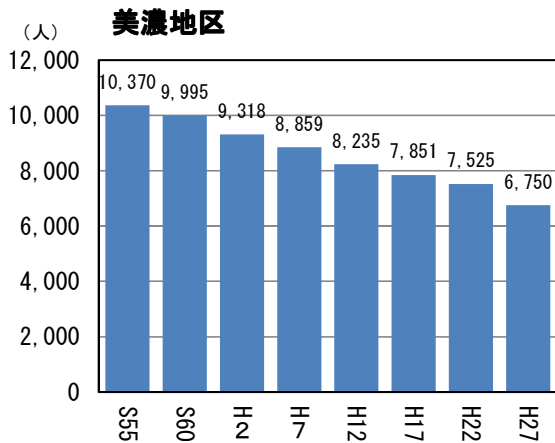
○他の世代に比べて、特に 20 歳代と 5 歳未満の人口が少なくなっていることがわかります。

■美濃市の人口ピラミッド（平成 27 年）



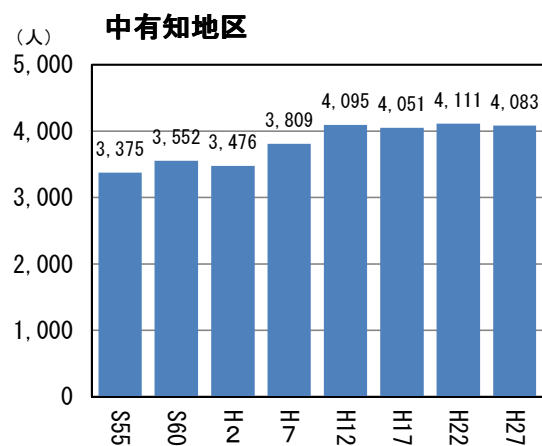
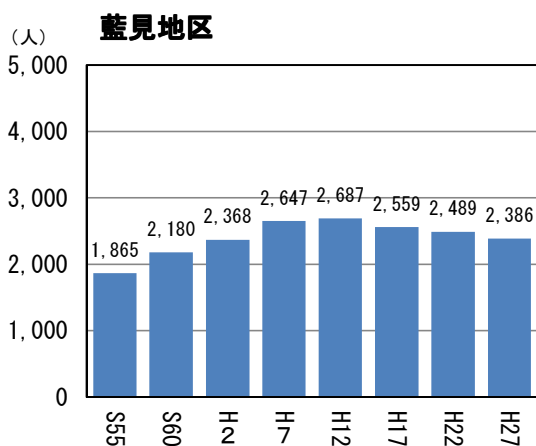
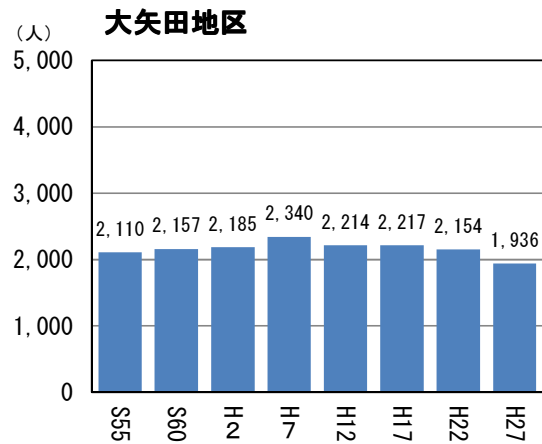
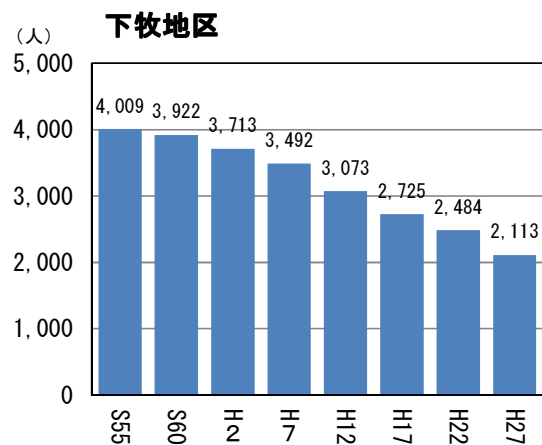
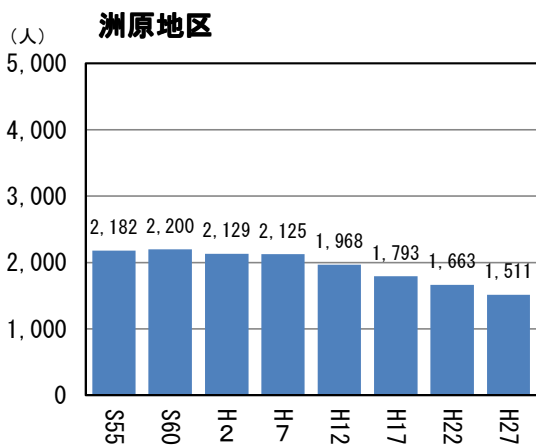
資料：国勢調査

(2) 地区別人口の推移



○地区別人口の推移をみると、美濃地区や北部の洲原地区、下牧地区、上牧地区では人口が減少傾向にあります。

○西南部の大矢田地区、藍見地区は平成7年～平成12年をピークに微減傾向にあります、減少率は比較的小さい状況です。中有知地区は、市内でも唯一人口が増加しています。

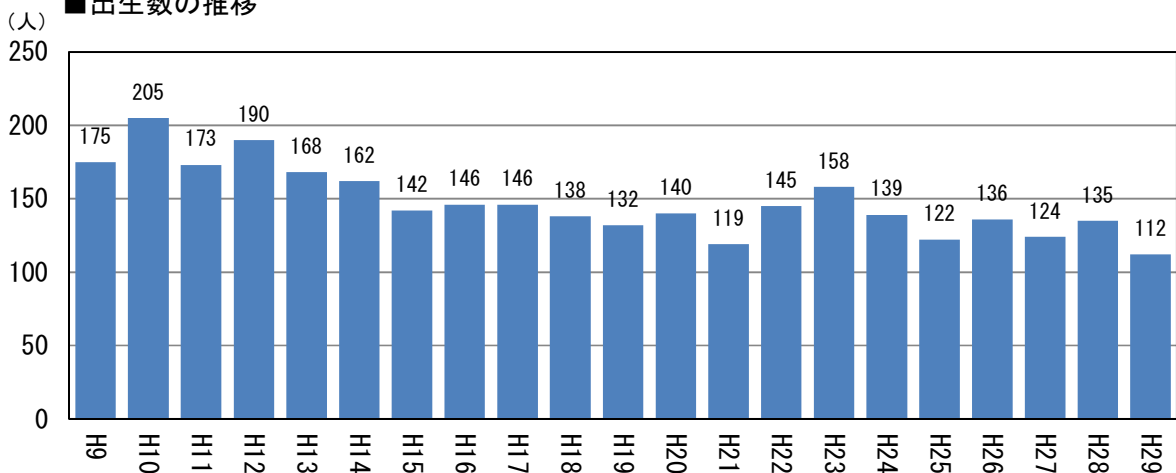


1 子どもの教育・未来

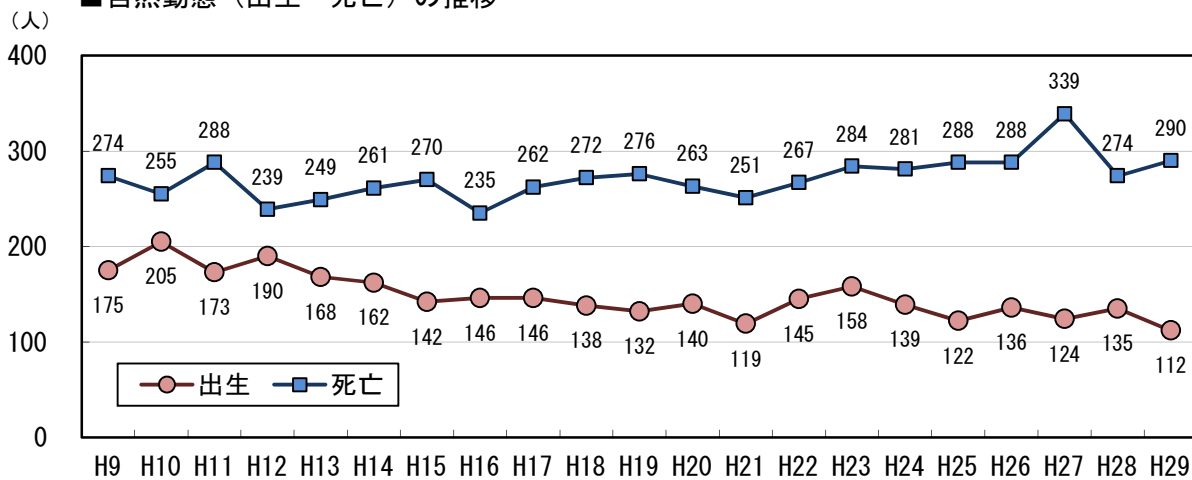
(1) 出生数の推移

○出生数は、増減を繰り返しつつも、継続して減少傾向にあります。自然動態（出生と死亡の動き）をみると、出生よりも死亡が上回る状態が続いており、自然減の傾向となっています。

■ 出生数の推移



■ 自然動態（出生・死亡）の推移

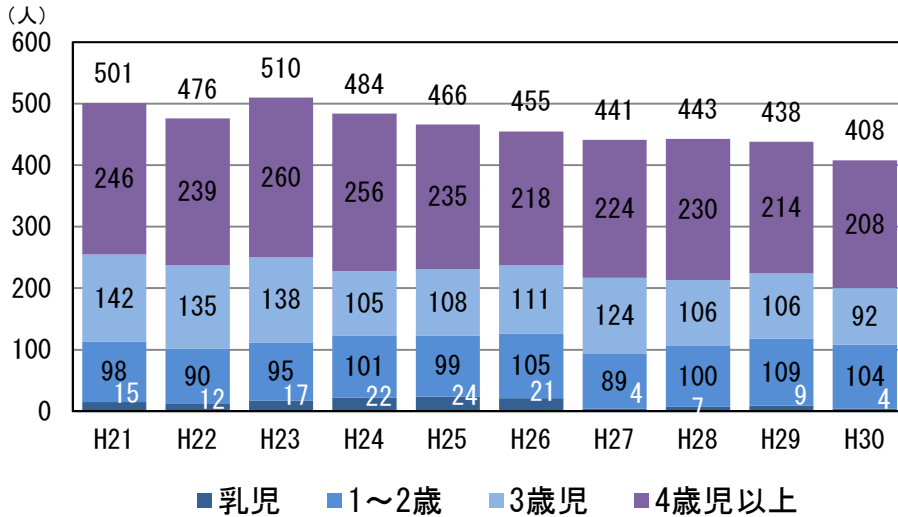


資料：美濃市統計書

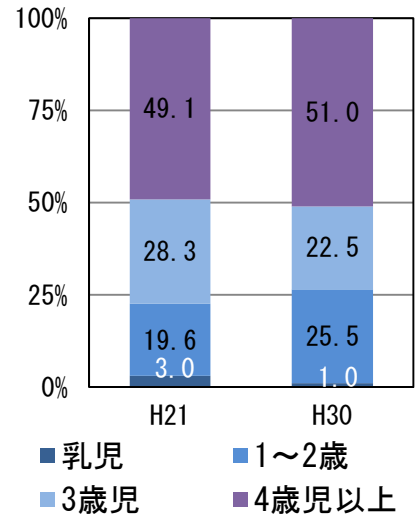
(2) 保育園・幼稚園の状況

○保育園、幼稚園の児童数は、各年で増減があるものの、やや減少傾向にあります。保育園における年齢別児童数の割合を平成21年と平成30年で比較すると、1～2歳の割合が高まっています。

■ 保育園の児童数の推移

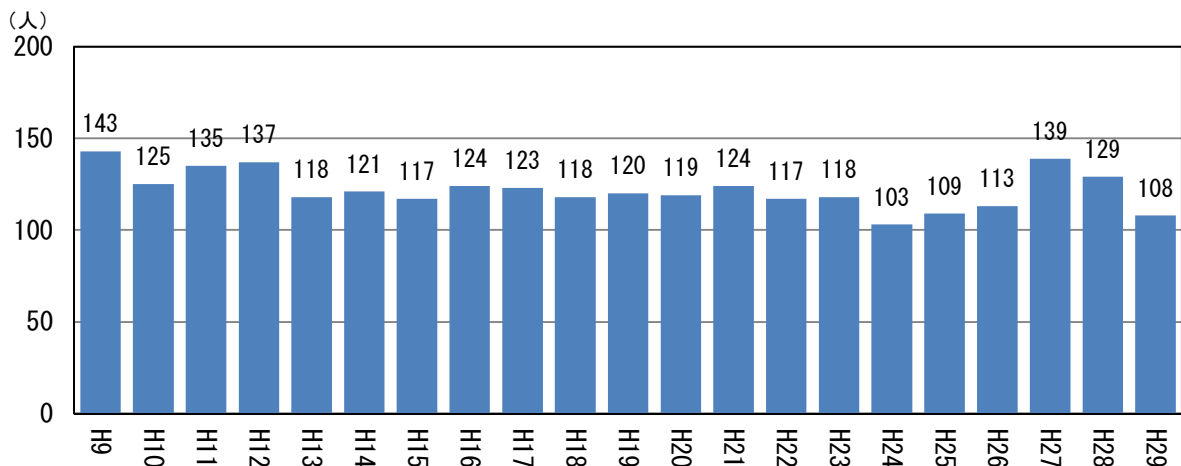


■ 児童数の年齢別割合



※平成30年10月1日から美濃ふたば保育園開園（定員9人）

■ 幼稚園の児童数の推移



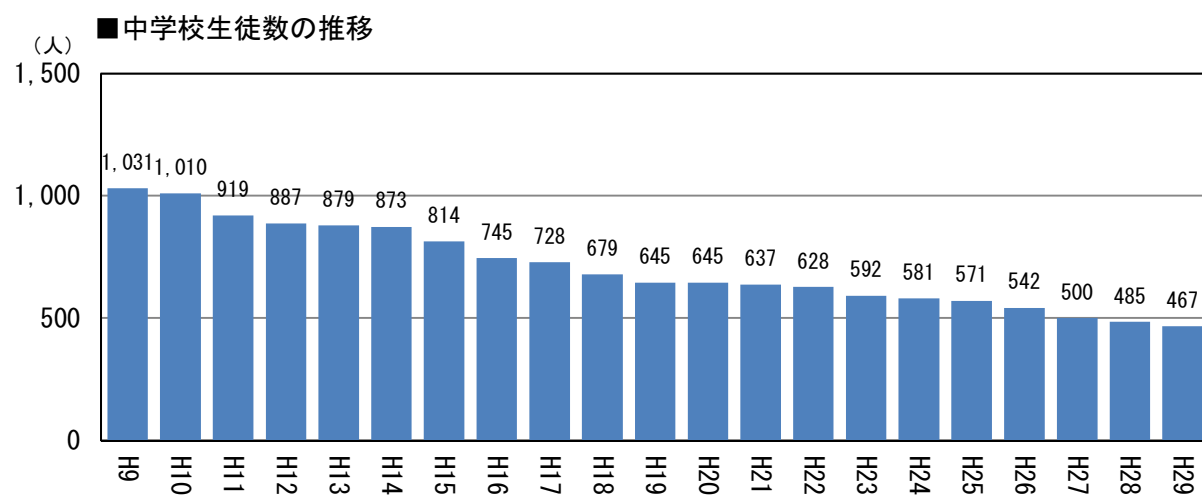
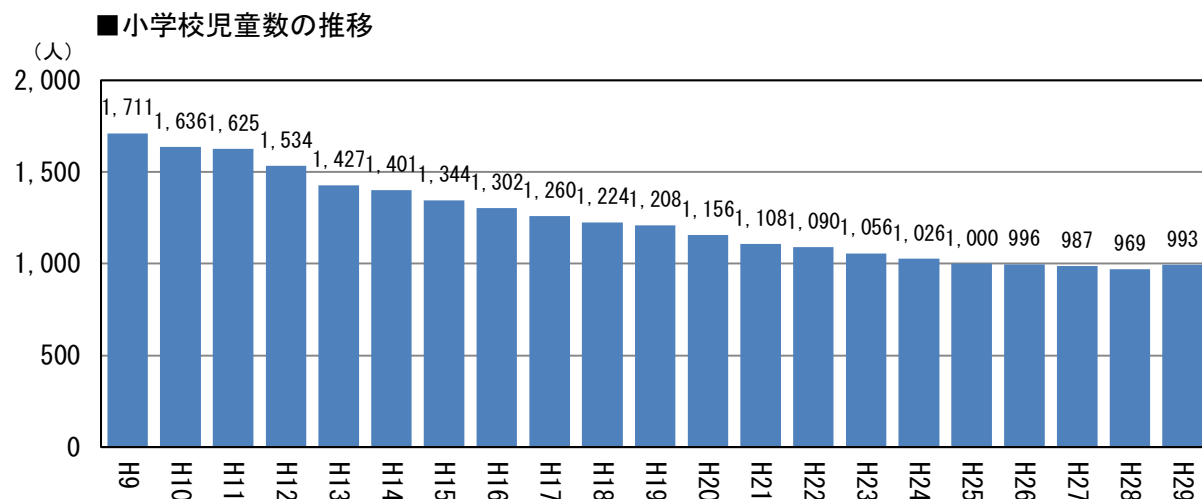
資料：美濃市統計書

■ 美濃市の保育園・幼稚園

保育園	幼稚園	こども園
清泰保育園	美濃ふたば幼稚園	美濃保育園
かえで保育園		下牧こども園
松美保育園		牧谷保育園
美濃ふたば保育園 (H30.10.1から)		

(3) 教育機関の状況

○市内の小学校は5校、中学校は2校あり、小学校児童数、中学校生徒数いずれも減少しています。



資料：美濃市統計書

■ 美濃市の教育施設

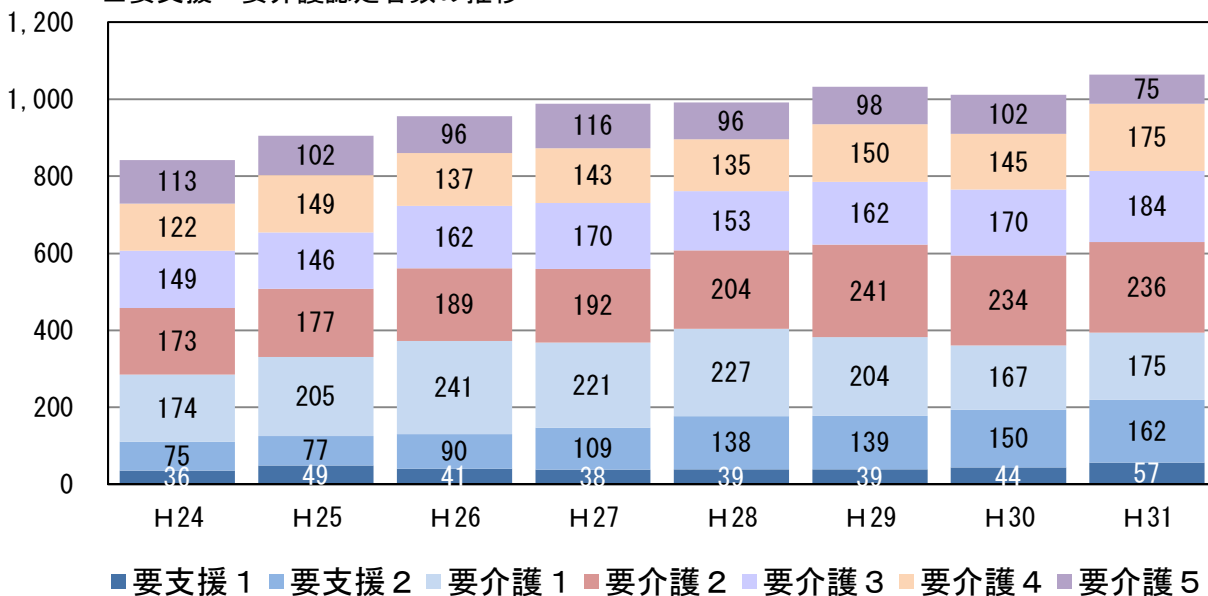
小学校	中学校	その他
美濃市立美濃小学校	美濃市立美濃中学校	岐阜県立武義高等学校
美濃市立牧谷小学校	美濃市立昭和中学校	岐阜県立森林文化アカデミー
美濃市立大矢田小学校		
美濃市立藍見小学校		
美濃市立中有知小学校		

2 市民の福祉

(1) 要支援・要介護認定者数の推移

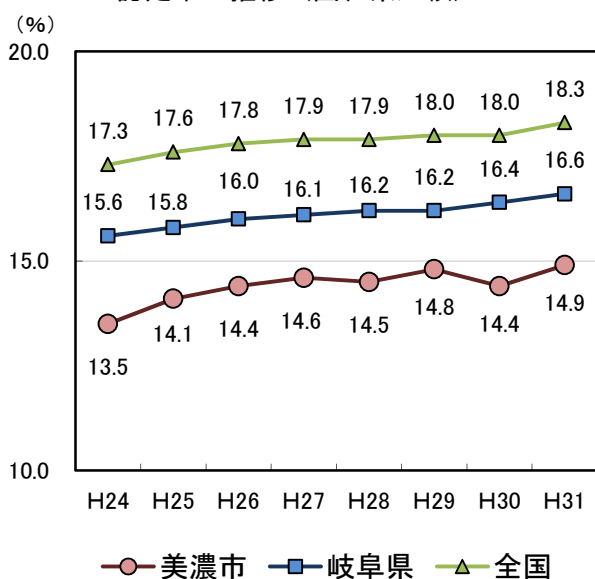
○介護保険において、支援や介護を要する状態の人である、要支援、要介護認定者数は年々増加しています。被保険者に対する要介護・要支援認定者の割合を示す認定率では、美濃市は全国、岐阜県よりも下回っています。要支援・要介護認定者の割合を全国、岐阜県と比較すると、美濃市では軽度者の割合が低く、中度者の割合が高くなっています。

■ 要支援・要介護認定者数の推移

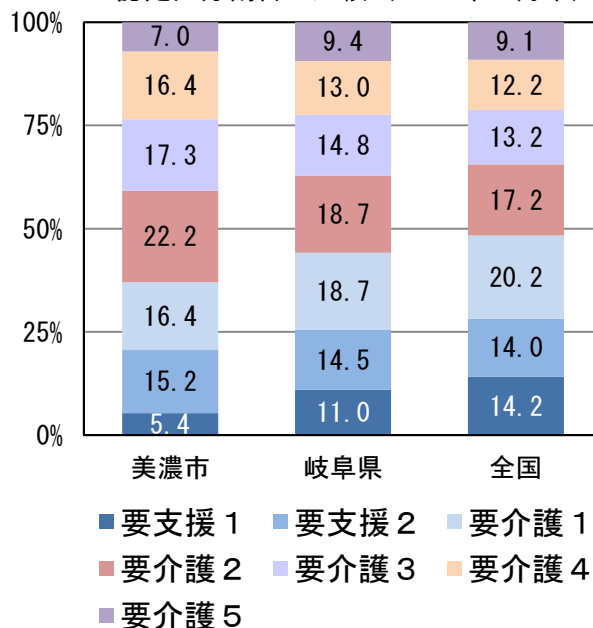


資料：地域包括ケア見える化システム（各年3月末現在）

■ 認定率の推移（国、県比較）



■ 認定区分割合の比較（H31年3月末）

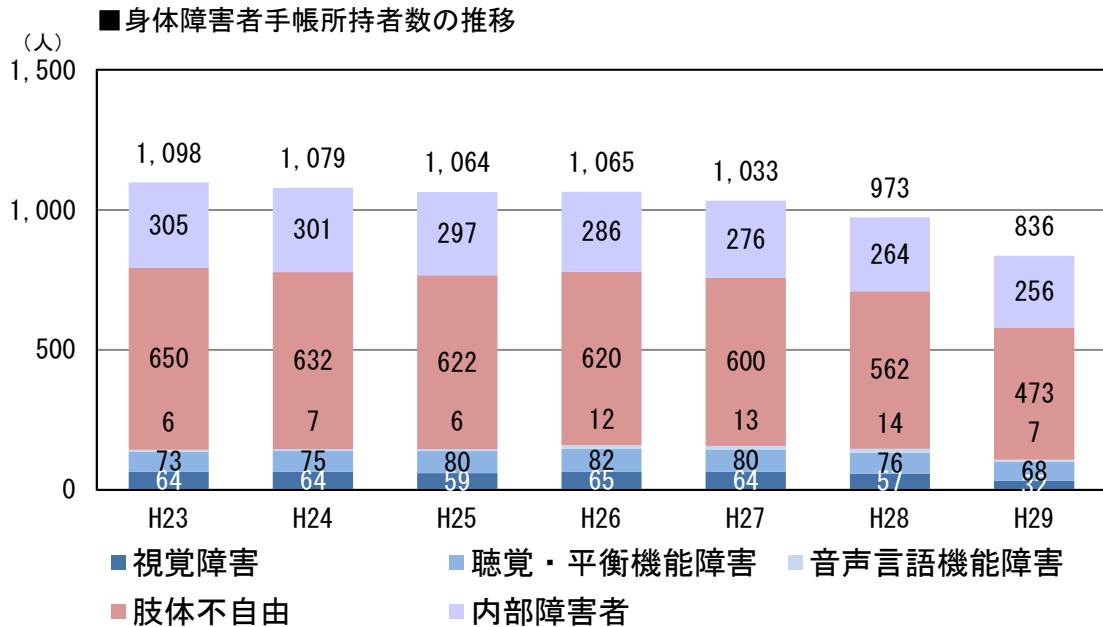


資料：地域包括ケア見える化システム（各年3月末現在）

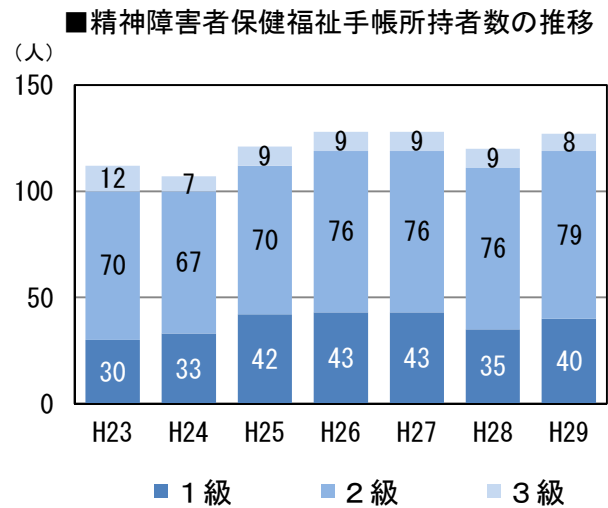
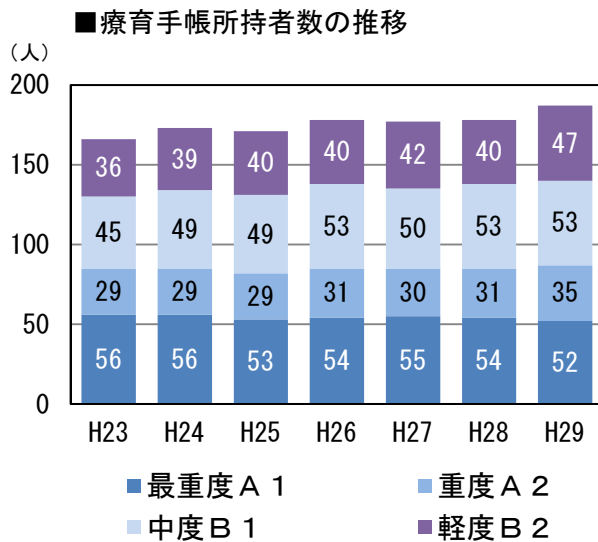
(2) 障害者手帳所持者数の推移

○障害者手帳所持者数の推移をみると、身体障害者においては減少傾向にあります。障害の部位別では、「肢体不自由」が大きく減少しています。

○療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者はともに微増傾向にあります。



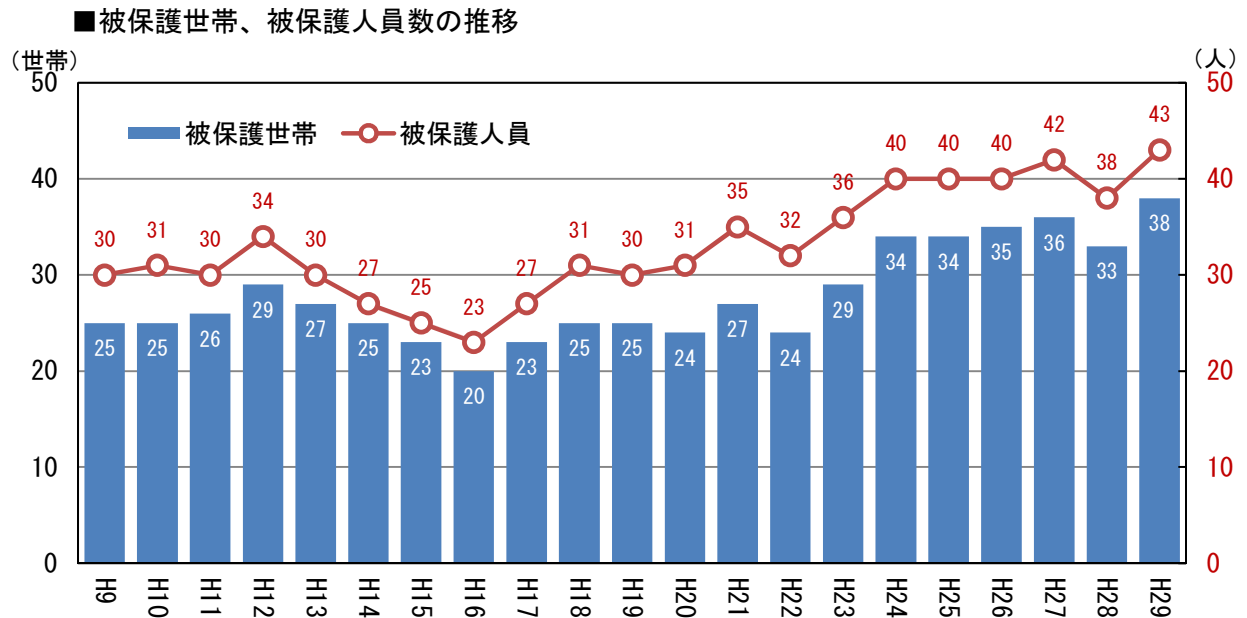
資料：美濃市統計書



資料：美濃市障がい者計画・第5期美濃市障がい福祉計画・第1期美濃市障がい児福祉計画

(3) 生活保護世帯数の推移

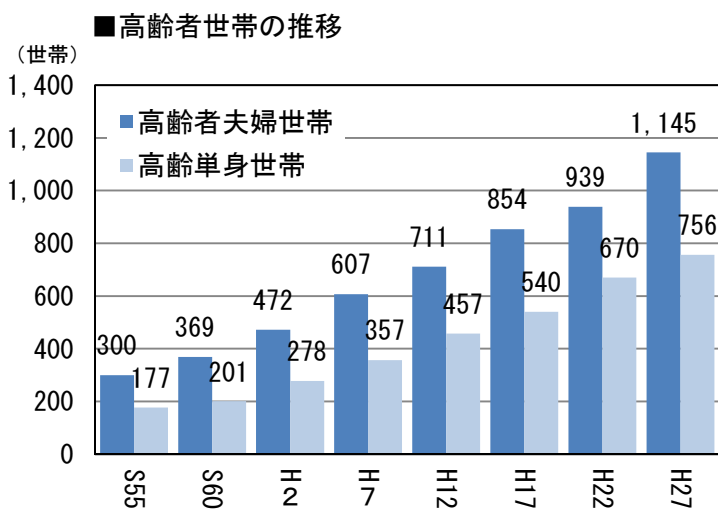
○美濃市の生活保護世帯数の推移をみると、増減を繰り返しつつも、長期的にみると増加傾向を示しています。平成29年の被保護世帯数、被保護人員数は過去20年で最も多くなっています。



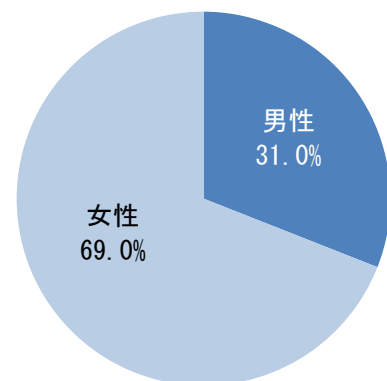
資料：美濃市統計書

(4) 高齢者世帯数の推移

○美濃市の高齢者夫婦世帯、高齢単身者世帯は、ともに増加しています。高齢単身者世帯を性別で見ると、女性が長命・長寿であることから女性の割合が高くなっています。



■高齢単身世帯の男女比 (H27)

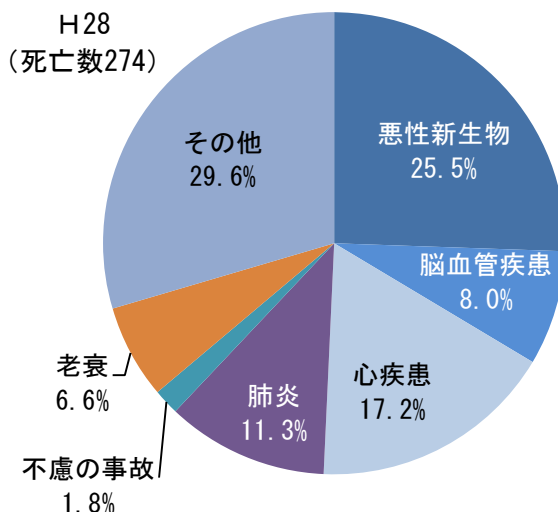


資料：国勢調査

3 健康

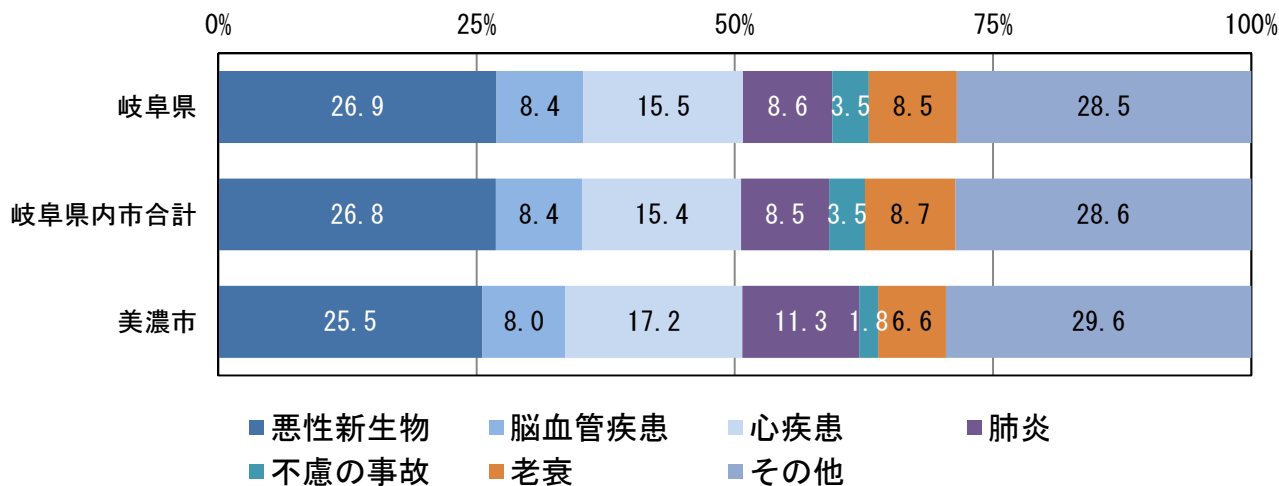
(1) 主要死因の状況

- 美濃市の平成 28 年の死亡者総数は 274 人となっており、その主要死因をみると、「悪性新生物（がん）」が最も高い割合を占めています。
- 「悪性新生物」「脳血管疾患」「心疾患」を合わせた、いわゆる生活習慣病の割合は 50.7%と、半数以上を占めています。
- 岐阜県と県内市の合計と比較すると、美濃市では「心疾患」「肺炎」の割合が高くなっています。



資料：県医療整備課「衛生年報」

■主要死因割合の比較（岐阜県、県内市）

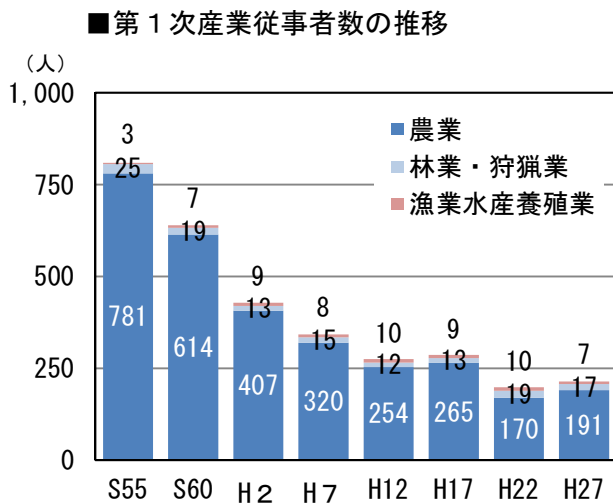


資料：県医療整備課「衛生年報」（平成 28 年）

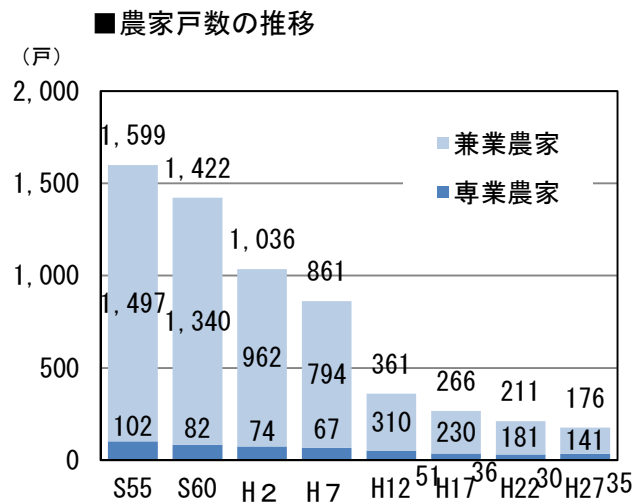
4 農業・林業

(1) 農業・林業の従事者数の推移

○美濃市の第1次産業従事者数は減少傾向にあります。また、農林業センサスに基づく美濃市の農家戸数は平成27年で176戸となっており、減少の一途をたどっています。



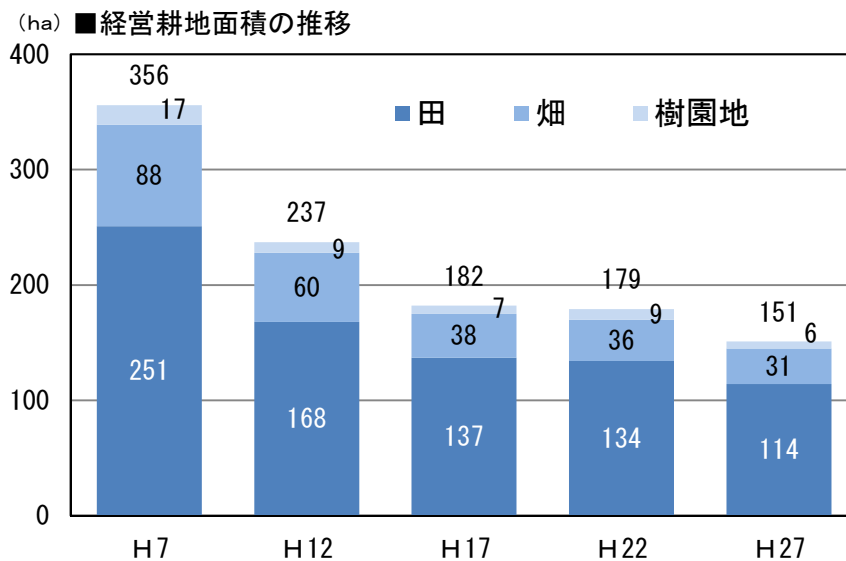
資料：国勢調査



資料：農林業センサス

(2) 耕地面積の推移

○農林業経営体が経営している耕地の面積については、田、畑、樹園地いずれも減少しています。平成7年から平成27年にかけて、全体で約60%の減少となっています。



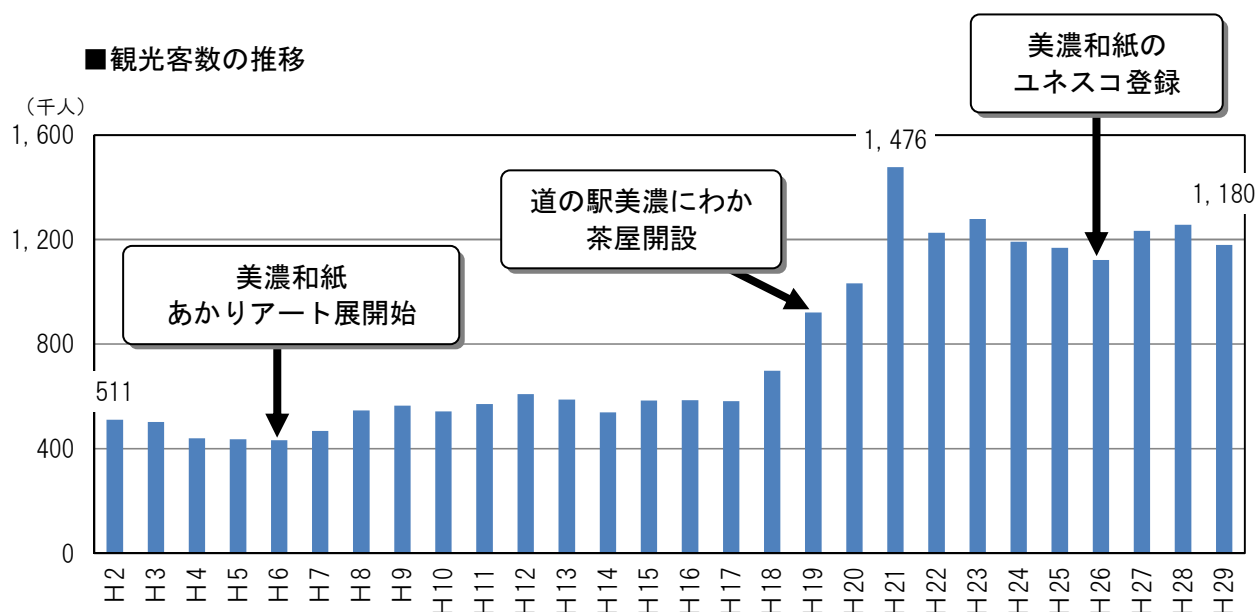
資料：農林業センサス

5 観光の活性化・文化

(1) 観光客数の推移

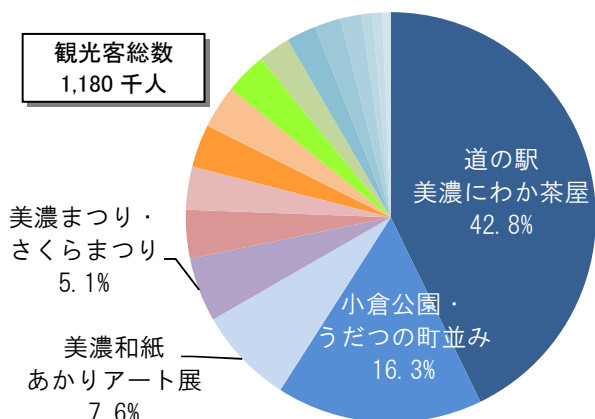
○美濃市にはユネスコ無形文化遺産に登録された美濃和紙や、国重要伝統的建造物群保存地区であるうだつの上がる町並みなど、魅力ある観光資源が多く存在しており、観光客数は増加傾向にあります。

○観光地点別の観光客数をみると、全体の約4割が「道の駅美濃にわか茶屋」となっています。その他「小倉公園・うだつの町並み」や「美濃和紙あかりアート展」も安定した集客となっています。

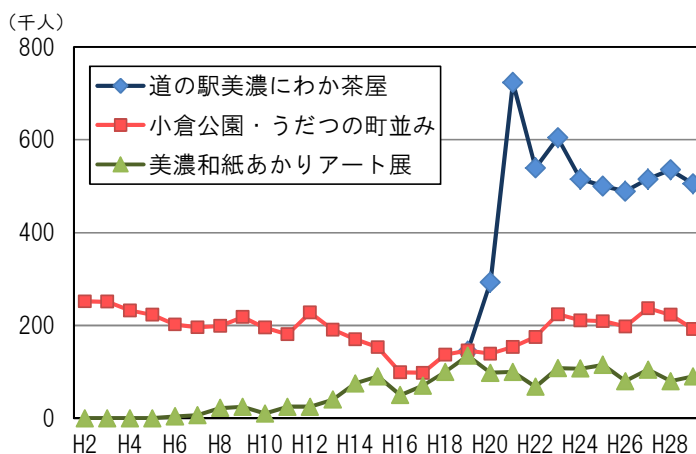


資料：美濃市統計書

■観光地点別観光客数（平成29年）



■集客上位の観光地点



資料：美濃市統計書

(2) 美濃市の文化財一覧

○文化財は「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」及び「伝統的建造物群」と定義され、これらの文化財のうち、重要なものを国や県、市が指定・選定・登録し、保護しています。

○指定文化財には、文化財保護法による国指定文化財・国登録文化財、岐阜県文化財保護条例による県指定文化財、美濃市文化財保護条例による市指定文化財があります。

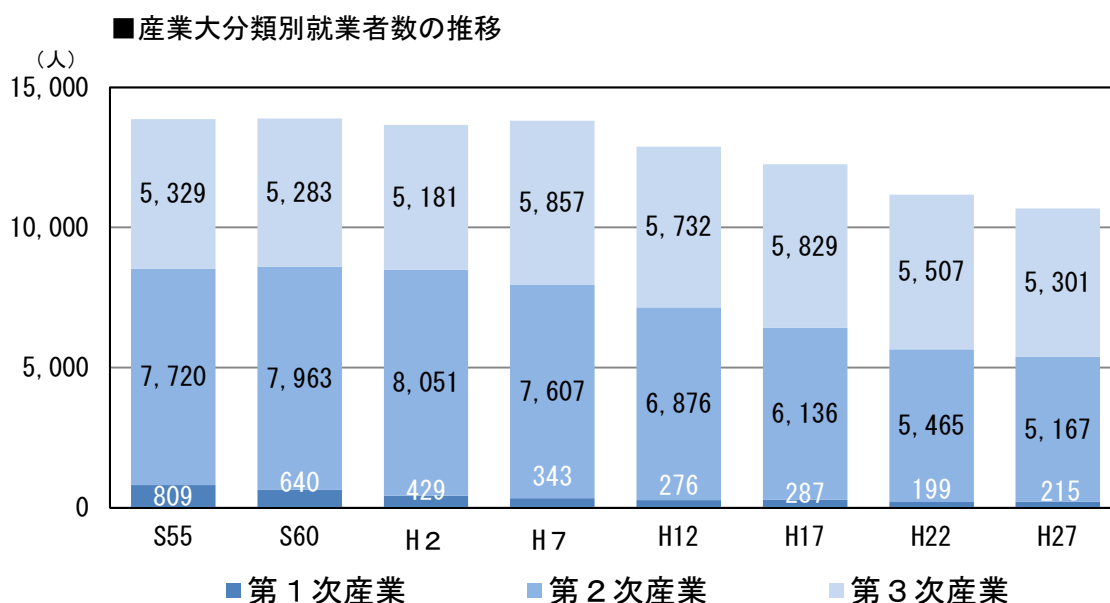
区分	文化財	
国指定文化財 (9)	大矢田神社 社殿	
	楓谷ヤマモミジ樹林	
	小坂家住宅	
	洲原神社ブッポウソウ繁殖地	
	長蔵寺舍利塔及び須弥壇	
	本美濃紙	
	美濃橋	
	弥勒寺官衙遺跡群 鹿苑寺地藏堂 (六角堂)	
国選定・ 選択文化財 (3)	大矢田のヒンココ	
	美濃市美濃町重要伝統的建造物群保存地区	
	美濃流しにわか	
国登録 有形文化財 (4)	旧名鉄美濃線美濃駅	
	長良川発電所本館他 8 件	
	旧美濃町産業会館	
	長良川鉄道美濃市駅本屋・プラットホーム及び待合所	
県指定 文化財 (7)	県指定重要文化財 祭礼輜	
	県指定重要文化財 美濃観音寺山古墳出土品	
	上有知湊	
	洲原神社 本殿	
	鶴形山暖地性植物	
	県指定文化財 木造聖観世音菩薩立像	
市指定 文化財 (20)	卯建連棟家屋	市指定名勝 清泰寺庭園
	小倉山城跡	名寄帳 (前野区 天正検知 2 冊)
	大矢田神社 楼門	梵鐘
	覚源禅師の墓	三具足
	旧今井家住宅	港町岩陰遺跡
	旧有知学校	村瀬秋水の墓
	市指定無形民俗文化財 美濃まつり	村瀬太乙の墓
	洲原神社 拝殿	村瀬藤城の墓
	洲原神社 舞殿	木造韋駄天像
	洲原神社 楼門	木造四天王像

6 産業振興

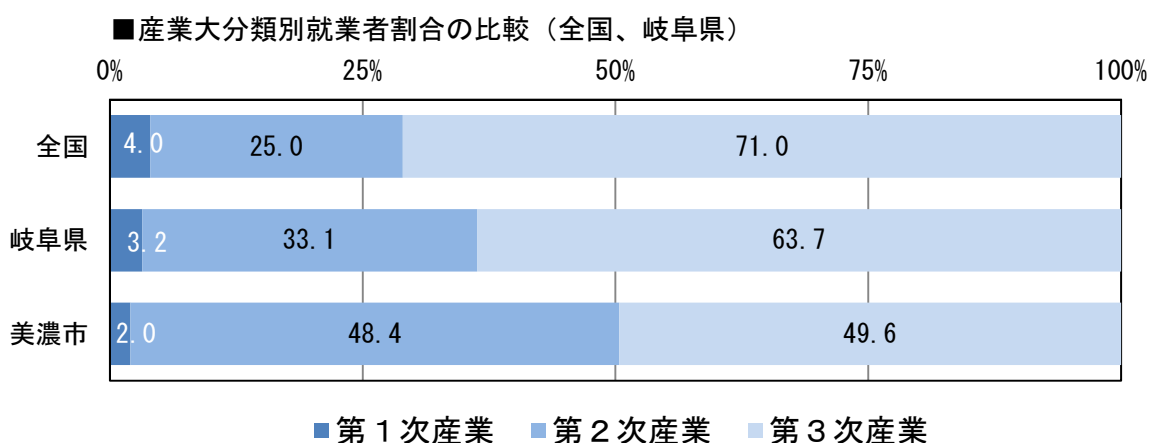
(1) 就業者数の推移

○美濃市の就業者数の推移をみると、全体的に減少傾向にあります。産業大分類別の就業者数では、農林漁業などの第1次産業、工業などの第2次産業が減少しています。

○全国、岐阜県と比較して、美濃市は第2次産業の割合が高く、第3次産業の割合が低くなっています。



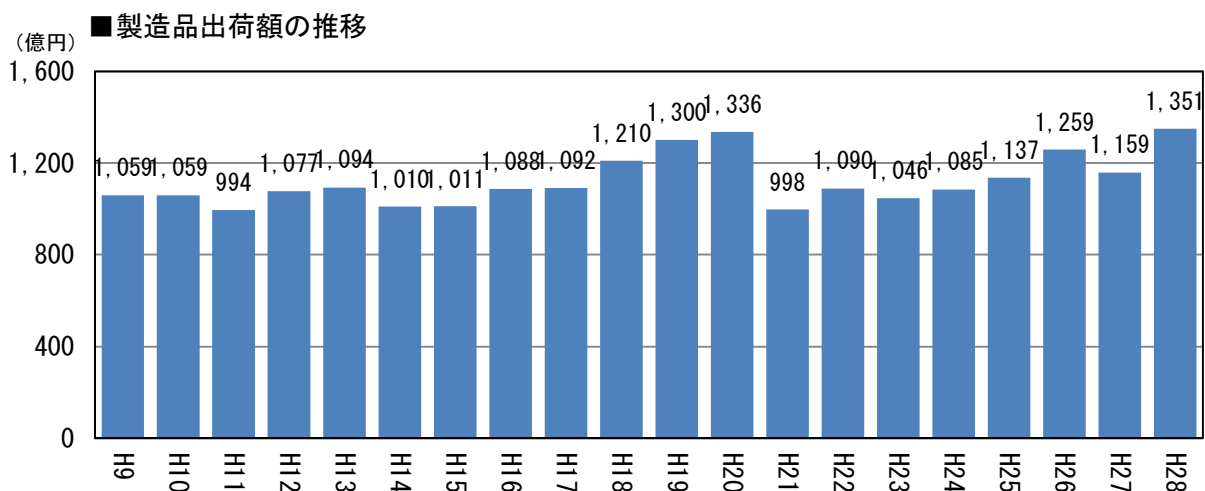
資料：国勢調査



資料：国勢調査

(2) 製造品出荷額の推移

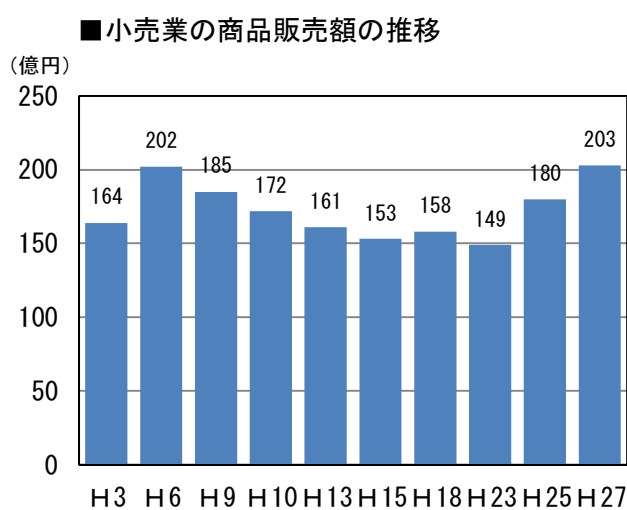
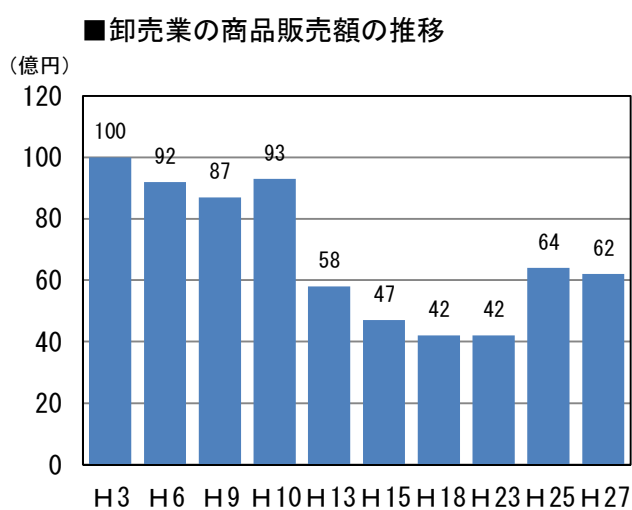
○美濃市の製造品出荷額の推移をみると、平成20年のリーマンショックによる世界同時不況の影響で平成21年に大きく減少しましたが、それ以降は継続して増加しており、平成28年にはここ20年で最も高い額となっています。



資料：美濃市統計書、経済産業省「工業統計」、H23、H27は総務省「経済センサス活動調査」

(3) 商品販売額の推移

○美濃市の商品販売額の推移をみると、卸売業、小売業ともに平成23年まで減少していましたが、それ以降は回復基調にあります。

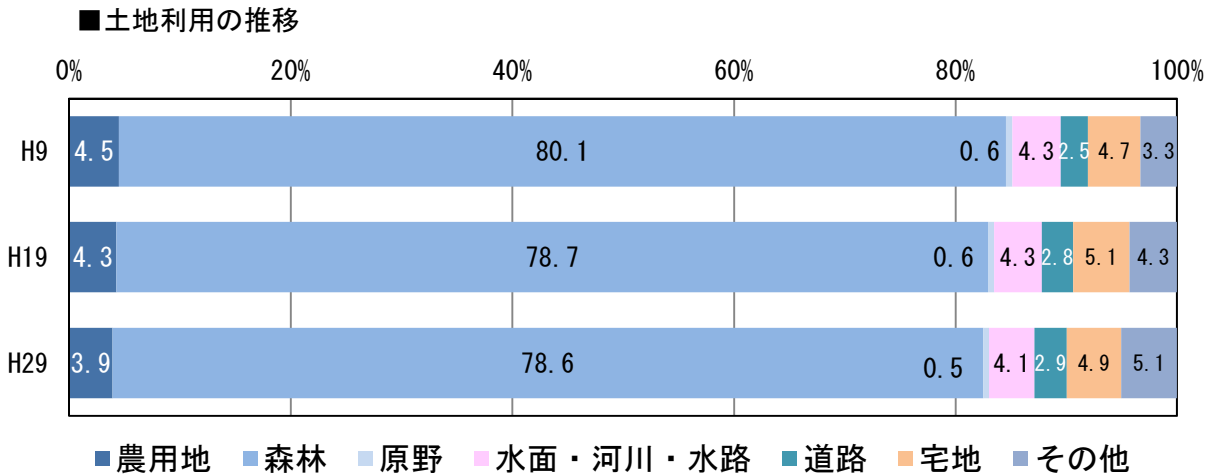


資料：経済産業省「商業統計」、H23、H27は総務省「経済センサス活動調査」

7 快適な暮らし

(1) 土地利用の状況

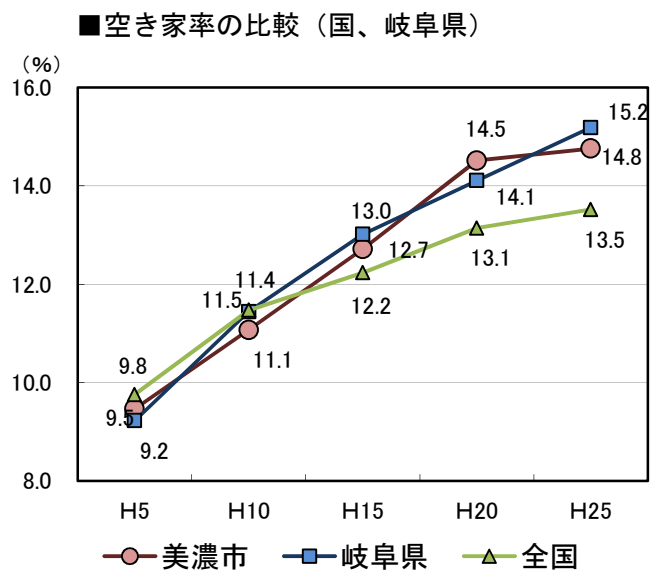
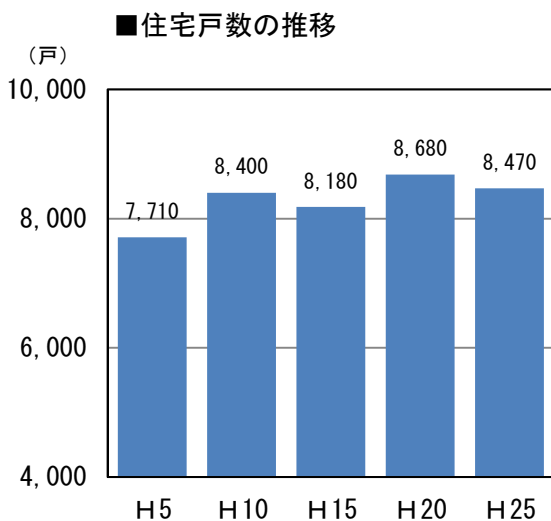
○美濃市の土地利用の状況をみると、市域の約8割を「森林」が占めています。経年でみると、「農用地」「森林」の割合が徐々に減少しています。



資料：美濃市統計書

(2) 空家の状況

○美濃市の住宅戸数は平成20年以降8,000戸を超えており、近年では若干減少しています。また、空き家率（住宅総数に占める空き家の割合）は平成20年までは増加しており、以降横ばいとなっています。



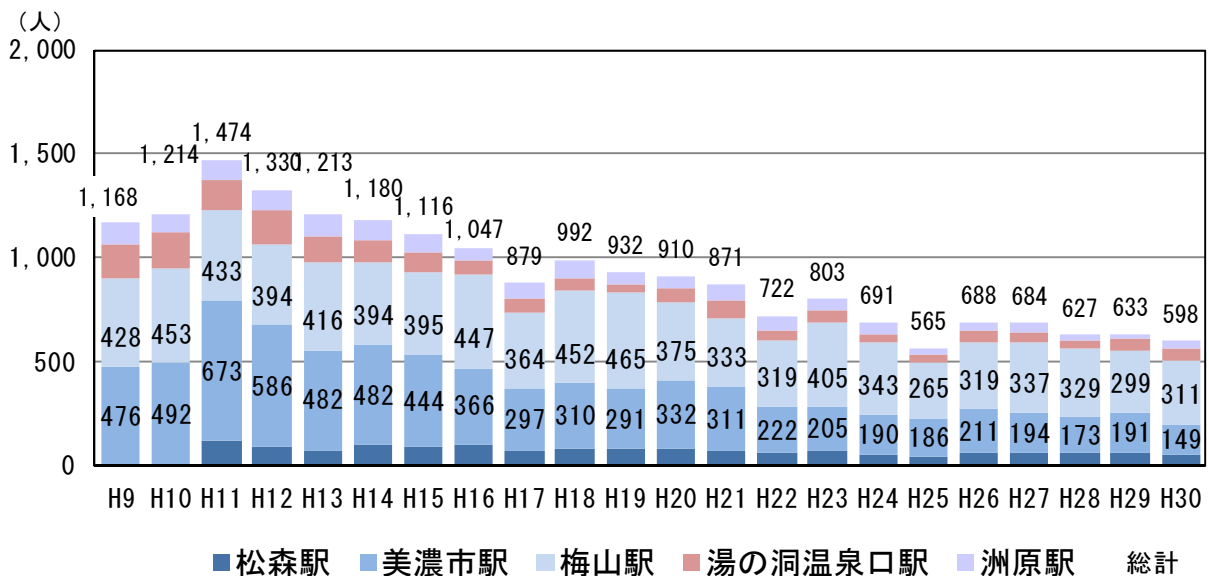
資料：住宅・土地統計

(3) 公共交通機関の利用者数の推移

○長良川鉄道の乗降客数の推移をみると、美濃市駅及び梅山駅の利用者が大半を占めているものの、平成30年にはピークの平成11年と比べると美濃市駅は約8割減、梅山駅は約3割減となっています。

○バスの利用者数の推移をみると、平成25年以降、市が運営する乗り合わせタクシー「のり愛くん」の利用者数が大部分を占め、46,000～51,000人前後で推移しています。牧谷線の利用者数は継続して減少傾向にあります。

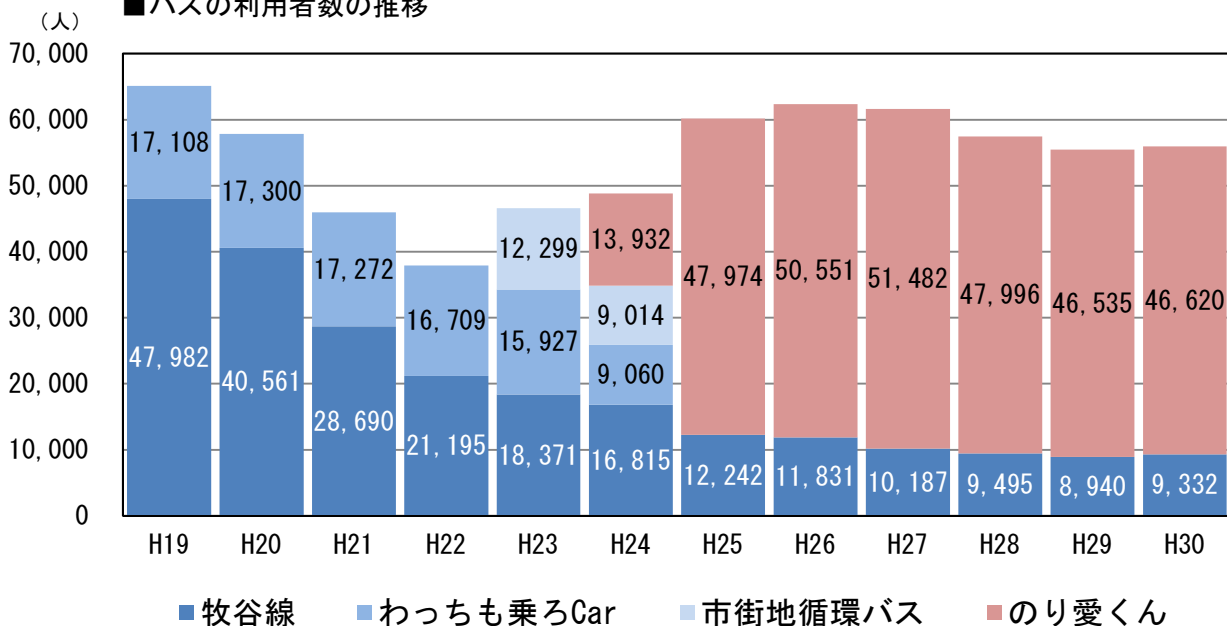
■長良川鉄道乗降者数の推移



※年1回の乗降調査による。松森駅は平成11年開設。

資料：美濃市統計書

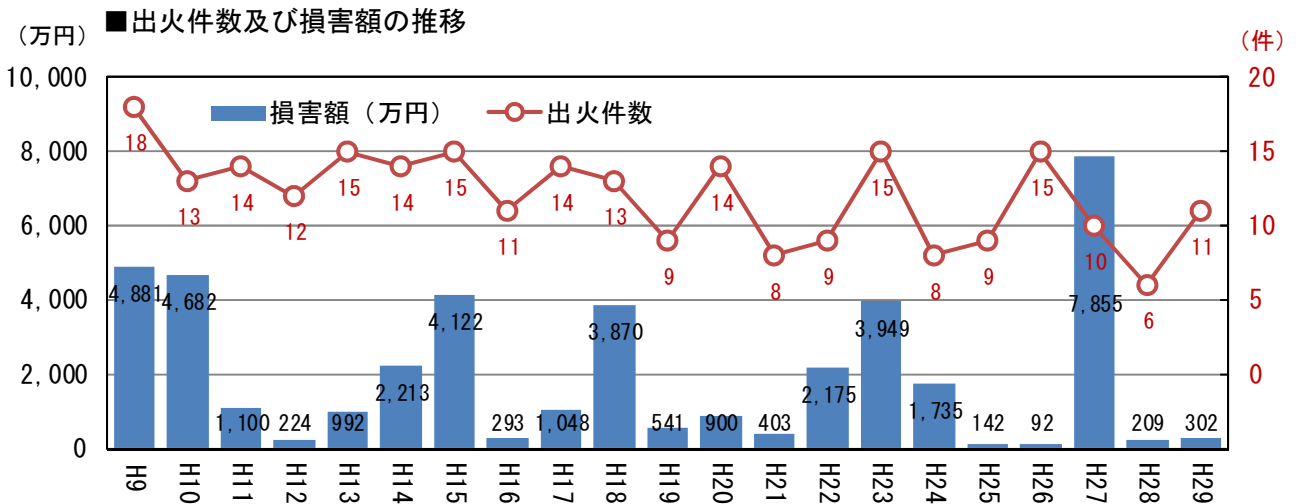
■バスの利用者数の推移



8 安心・安全なまちづくり

(1) 火災発生件数の推移

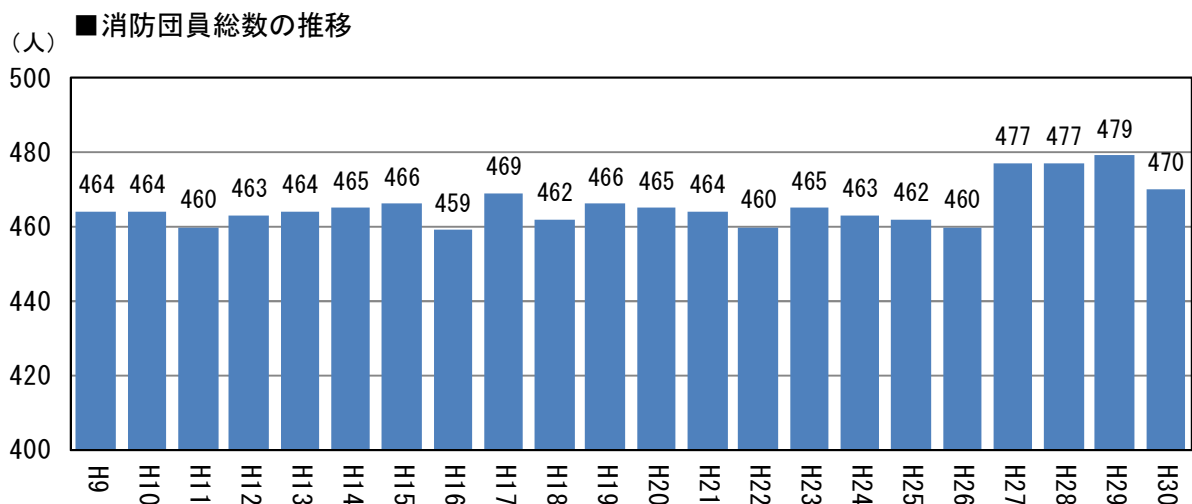
○美濃市の出火件数の推移をみると、年によっての変動はあるものの、平成10年以降は6～15件となっています。出火による損害額の推移をみると、出火件数に関わらず、数百万円～約8千万円となっています。



資料：美濃市統計書

(2) 消防団員数の推移

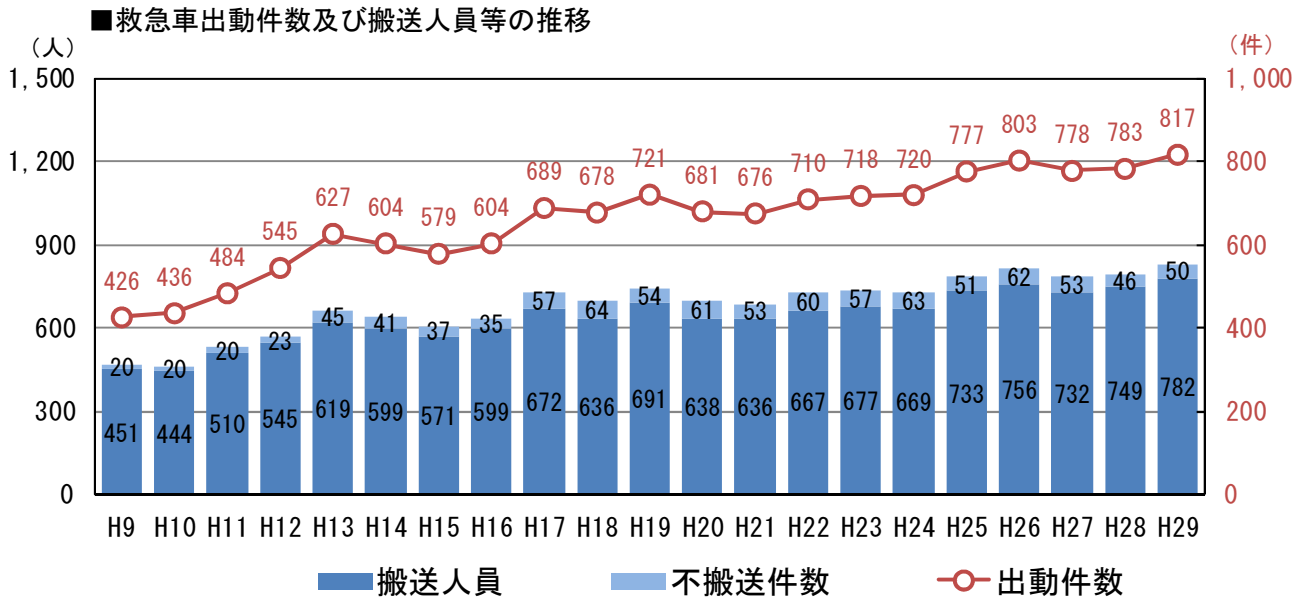
○美濃市の消防団員数の推移をみると、平成26年までは460人前後で推移していますが、平成27年以降は470人以上とやや増加しています。



資料：美濃市統計書

(3) 救急車出動状況

○美濃市の救急車出動件数及び搬送人員の推移をみると、いずれも年々増加傾向にあり、平成30年には平成9年と比べると出動件数はほぼ倍増、搬送人員は約7割増となっています。



資料：美濃市統計書